

# 現場レポート

介護付き有料老人ホーム

## ウッドデイトウン高崎南

(高崎市新町)

上信越道・藤岡インターチェンジを降り、熊谷方面に数分行く

と、3階建て鉄筋コンクリートづくりの建物が見えてきた。一見するとホテルのようなたたずまい。入り口の扉が開くと、「いらっしゃいませ」と職員が笑顔で迎えてくれた。

2007年、高崎市新町地区に初めてオープンした介護付き有料老人ホーム「ウッドデイトウン高崎南」。施設

を「ついでに棲家」と考える利用者が多いため、暮らしやすく、入居者の目線にたったサービスを心掛けているという。

特に重視しているのが娯楽の充実。料理教室や健康体操、囲碁などお年寄りが親しみやすい活動のほか、アロマ

マセラピー、フラワーアレンジメントといった女性に人気の教室など36の教室や講座を用意。利用者は「クラブ活動」と呼び、好みの活動に参加して生活を楽しくしている。

### 関口和之総支配人



自慢です

充実したシニアライフを送れるように「高級ホテルに介護サービスが付いた施設」を目指した運営をしている。

施設では、心身共に明るい暮

### 緊急時は病院と連携

らしができる環境を整備。利用者はテラスで談笑したり、花が咲き誇る中庭を散策したりと、思い思いの時間を過ごしている。

緊急時や体調不良の際には、近隣の病院と連携し、迅速な対応をとれる態勢になっている。また、希望者には施設での看取りも行っている。

# ホテル感覚の快適さ

ど、気分転換を目的とした小旅行も月2回行っている。

塩分、形状などを調整し、食の面からも利用者を支えている。

料は家賃と管理費、食費を含めて16万3200円。2人部屋は2人で入居一時金798万円、月額利用料28万8400円。随時、体験入居(有料・要相談)も行っている。

利用者として職員が「ゲートボール」と呼ばれる室内ゲートボールを楽しんでいた。「惜しい、もうちょっと」「ナイスショット」。利用者が生き生きとした表情でクラブを振っている。

利用者には充実したサービスを提供するため、職員の呼称や教育内容にも独自の工夫がされている。介護、看護職員をそれぞれ「ケアアテンダント」「ナースアテンダント」と呼び、ホテルの接客に近い形で生活を支援。介護や看護の研修だけでなく、年2回の接客マナー研修を行い職員の教育徹底を図っている。

入居条件は、原則65歳以上の人。個室と夫婦など2人部屋、個室の2種類があり、個室の基本価格は入居一時金(75〜84歳の場合)402万円。月額利用

【XMO】▽運営主体ウッドデイトウンケア(塚本昭次社長)▽開設 2007年▽定員 65人▽ ☎0274・42・0077



室内で行われていたゲートボール。充実したクラブ活動が行われている

クラブ活動以外にも、関東近郊の観光地を巡るバスレクや工場見学、グルメやスイーツを味わうツアーな

事。3食とも2種類ずつのメニューを選択できる仕組みになっている。持病や疾患がある利用者にはカロリーや



日が差し込む多目的ホール。中庭の花を眺めながら談笑できる